

令和6年度 沼津情報・ビジネス専門学校

学校自己評価・学校関係者評価 報告書

(令和5年度評価)

1. 教育理念・教育方針 の確認

〈教育理念〉

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈教育方針〉

沼情のミッション「地域社会に愛される技術者の育成」

- 「技術者の育成」と「地域社会への貢献」の両輪で教育を推進する
- 「地域社会への貢献」というマインドセットを持った技術者を育成する
- 学生は「地域社会へ貢献」するための「スキル」を習得目標とする
- 学生の主体性を全面的に支援する
- 学校自体が地域社会に対して積極的に貢献する

2. 評価項目の達成及び取組状況 の確認

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

※自己評価の平均は、小数点第2位を四捨五入する。

(1) 教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4.0
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	3.9
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3.6
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7
学校自己評価 平均		3.8

成果と課題

- ・教育理念並びに教育目標は、学生便覧に記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知されている。
- ・HPや学生便覧等で明確に示されている。またオープンキャンパス等でも説明している。

今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会等を通じて、社会ニーズを取り入れた2026年度カリキュラム改編を推進する。

学校関係者 評価コメント

- ・社会で自立するための人間力や、地域社会への貢献等、学校が地域社会へ積極的に貢献する姿勢が示されている。
- ・教育理念、および目標についてはパンフレット及びHP等で明確にされている。
- ・社会の趨勢、法律改正等にも対応できるようにしている。
- ・在校生のための専門学校としての理念や目標はしっかり発信されていると思います。社会経済ニ

ーズまで意識した時はさらに発信すべきものがあると感じました。

- ・沼情のミッションが周知されるだけでなく、学生の目標モデルとなる人物を学生が取材するなどして、学生自身の理念として定着しているという実績、評価があるとより良いのではと思います。
- ・HPや冊子など充実していると思います。
- ・教育理念において保護者に周知されている点は良いと思います。
- ・教員の皆様のご努力は称賛に価すると常日頃から感じております。学生たちが勉学に向き合う姿勢が今後は大切だと考えます。
- ・教育理念、目標については常勤講師に関してはしっかり目標を立てて実施しているように感じます。ただし、非常勤講師にまで浸透しているかが問題で、教員全体でしっかりと共有しないと、生徒は感じ取ります。

学校関係者評価平均 3.9

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	3.8
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.8
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.7
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.7
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.6
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.3
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.8
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3.3
学校自己評価 平均		3.7

成果と課題

- ・シラバスの作成及び公開を行っており、各授業で配布または公開データをもとに説明している。
- ・修業年限を意識した教育到達レベルおよび他学科との差別化等は意識されている。技能・知識の定着に必要な学習時間も議論されている。
- ・企業・団体の関係者を交えたカリキュラムの編成委員会にて検討され実施されている。
- ・実習等に関連企業・団体関係者が実際に入り指導を受けている。
- ・半期毎に学校アンケート・授業アンケートを実施している。その結果を踏まえ、授業内容の改善を図っている。
- ・非常勤講師に対しては資質向上のための具体的取り組みが行われていない。

・学習習慣の無い学生については放課後などを活用してフォローしているが、目標まで引き上げられていない。
<u>今後の改善方策</u> ・非常勤講師も含めた全教員の指導力向上研修の実施。
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・体系的なカリキュラム編成により、実践的な職業教育の工夫がなされている。 ・非常勤講師までを教育する側と考えた時には今後まだできることがあると思いますが、教育活動の十分な環境が整っていると思います。 ・教員育成への取り組みやFDの成果がわかりにくい。 ・非常勤講師の指導研修は必要かもしれないですね。 ・適切だと思います。 ・教員の皆様のご努力は称賛に価すると常日頃から感じております。学生たちが勉学に向き合う姿勢が今後は大切だと考えます。 ・学生も様々なタイプがいますので、それぞれに合った導き方で学生を指導していく必要があります。社会人になると、ただ勉強が出来るだけではだめなので、社会生活に溶け込めるように導いていただきたいです。
学校関係者評価平均 3.7

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	3.7
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3.4
3-3	退学率の低減が図られているか	3.2
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
学校自己評価 平均		3.3
<u>成果と課題</u> ・常に就職率 100%達成を目標とし、就職率向上の施策が練られている。 ・資格取得のための対策授業や補講を実施し、取得率の向上を目指している。 ・一部の資格では結果が出ているが、目標資格の結果が伴っていない。 ・学習意欲低下および退学兆候が見える学生に対して早期フォローや保護者面談を実施している。 ・卒業生の動向について、積極的な把握に至っていない。		
<u>今後の改善方策</u> ・卒業生の就職後動向や企業評価を把握するための全学的な追跡調査を検討。 ・こまめな出欠チェックから問題学生を早期発見し、退学予防に繋げる。		
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・様々なコンテスト等への参加実績があり、学生の積極性が感じられる。 ・就職に関しては十分な成果を上げていると感じます。学科によっては学習成果の披露の場がもっとあってよいと思いました。 ・就職率 100%にむけた取り組みが評価できる。しかし、退学率を低減させるための取り組みについ		

て強化されるとよい。

- ・（委員の所属する学校も）昨年度の退学者数が例年よりかなり逸脱した数となり、特に新入生で多く、コロナの影響が大きいのではないかというのが多数意見でした。
- ・退学率の評価の仕方について検討できるとよいと思います。
- ・学外の活動も評価できるのか。
- ・卒業できなかった学生の数も出してほしい。
- ・教育成果については毎年の適正人員によって異なる部分もあり評価が難しいが、向上に努めていただきたい。
- ・一部のやる気のない学生のために周りの学生たちが足を引っ張られるというのは本来の姿ではないと考えます。義務教育ではありませんので英断も必要かと考えます。
- ・出席率チェックが月 1 回から 2 回に増えたことは素晴らしいと考えます。忙しい中で少しずつでも生徒の為に活動を起こすことを続ければ、より通いやすい学校になって行けると 생각합니다。

学校関係者評価平均 3.4

（４）学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.6
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.5
4-5	保護者と適切に連携しているか	3.5
4-6	卒業生への支援体制はあるか	2.9
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	3.9
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
4-10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5
学校自己評価 平均		3.6

成果と課題

- ・担任、就職担当を中心に全職員で支援体制を取っている。
- ・担任以外にも専門のカウンセラーに相談できる体制が整備されている。
- ・奨学金を利用している学生が以前より増えている。留学生に対する奨学金が少ない。
- ・ベッドがあり体調不良の学生に活用されているが、熱中症や軽微な怪我などへの対応マニュアルがあった方がよいと感じる。
- ・担任を窓口とし、必要に応じて保護者と連絡を取っている。
- ・卒業生から連絡があった際は相談に乗っているが、体制としてはできていない。
- ・模擬授業、公務員模試、対策講座等を実施している。星陵高校と高専一貫教育を実施している。
- ・就職担当が積極的な企業訪問等を行い開拓しており、年々求人数も増加している。分野や学科により開拓の余地がある。
- ・学科の課外活動においては後援会からの補助を受けることができる。
- ・キャリアデベロップメントなど、社会人基礎力の向上に特に力を入れている

<u>今後の改善方策</u> ・同窓会拡充など卒業生との連携強化を図るための体制を整備する。 ・ハード・ソフト両面から、保健体制改善に向けた調査・検討。	
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・学生生活の支援から、進路・就職に関する支援体制は整備されている。 ・手厚くサポートされていると思います。卒業生、同窓会の整備に向けて準備されているようで、現状の課題についても今後の改善が期待できると感じました。 ・卒業生を含めたキャリアサポート体制が明確になっているとよい。 ・引き続き、同窓会との連携など卒業生への支援・連携強化を図る取組みがあるとよいと思います。 ・奨学金などもっと充実させてください。 ・適切だと思います。 ・十分に支援体制が出来ていると思いますが、学生がもっと望むさらなる支援に対応すべき ・十分すぎるほどのフォローをされていると感じます。 ・卒業生への支援活動については、同窓会でも議題となっておりますが、明確な打開策が出来ていないのが現状となります。まずは直近に卒業した学生からしっかり支援出来ていけば良いと考えます。	
学校関係者評価平均	
3.7	

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	3.7
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	3.4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	3.9
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3.6
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
学校自己評価 平均		3.6
<u>成果と課題</u>		
・講義室実習室については各責任者が割り振られており共通の設備は予約表で管理している。 ・実習室及び講義室は、管理担当者に申請をすれば利用できる体制を取っている。 ・教室の不足により、十分に対応できているとは言えない。 ・備蓄品や避難訓練など防災体制は整備されている。 ・研修先を吟味し、学びのある研修旅行が実施できた。		
<u>今後の改善方策</u>		
・一部学科では教室不足により実習室と教室兼用となっている。 ・研修旅行の必要性についてあらためて検討すべき。		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
・新しい校舎に充実した設備で教育環境は良好です。 ・長期的には教室の不足等を解消できる方策を考えられている。 ・教室不足というやむを得ない課題がありますが、その中でしっかり対応されていると感じました。		

・設備と学生数のバランスをもっと考えてほしいです。 ・適切だと思います。 ・施設・設備等素晴らしい環境であり、教育の上では問題なく感じています。 ・環境については問題がないと判断します。 ・学生が多く、コロナ環境下で閉鎖しているトレーニングルームや自習室がなかなか復活出来ないと言いました。学生にとっては、教育環境が一番大事だと思いますので、日本語学院が移転し部屋数に余裕が出来ましたら環境整備をお願いいたします。	
学校関係者評価平均	3.9

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4.0
6-2	募集要項の内容は適切か	3.9
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	3.9
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.9
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	3.9
学校自己評価 平均		3.9

成果と課題

- ・入学案内・募集要項は毎年更新され必要な情報を志願者に提供している。
- ・独自の学校説明会や体験入学を行う他、業者主催の進路ガイダンスへの参加を通して、教育内容、施設設備の見学、就職状況の公開など志願者が必要とされる情報を説明又は公開し、ミスマッチがないように伝える努力をしている。
- ・就職内定実績や教育成果等を冊子やHP等で公開し外部に発信しているが、公開方法や内容、更新のタイミング等においては、まだまだ改善の余地がある。

今後の改善方策

- ・SNSを含めた発信方法の見直しと発信力の強化。

学校関係者 評価コメント

- ・入学案内、募集要項は毎年更新され充実した内容となっている。
- ・募集のための情報発信もさらに充実してきていると感じました。
- ・時代によって方法はいろいろ変わると思います。
- ・定員割れにならないようにお願いします。
- ・学生募集要項もわかりやすく構成されていて、十分かと思います。
- ・ビジネス的要素と学力的要素にて賛否分かれる難しいところとは感じます。
- ・今期は入学の学生も多く、先生たちの頑張りが良く感じられます。この項目に関しましては、この調子でお願いいたします。

学校関係者評価平均 3.9

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3.4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	3.3

7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	3.4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	3.5
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3.8
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	3.9
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	3.5
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	3.6
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.9
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	3.9
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.7
7-19	自己評価結果を公開しているか	3.9
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	3.9
学校自己評価 平均		3.7

成果と課題

- ・教職員の評価は人事評価システムが法人にて運営されており適切に評価されている。
- ・適宜、会議等で情報交換がされている所もあるが、各学校間での連携などは出来ていないと思う。
- ・防災訓練の実施、避難経路の確認を実施。また安否確認システムを使った訓練も実施している。
- ・年度当初、職員会議などで所属長より運営方針が示されている。
- ・理事長方針と担当理事方針が発せられ、それに基づく所属長方針をもとに各部門にて実施計画を作成し実行している。
- ・必要に応じた意思決定がなされるようフロー、会議が実施されている。
- ・人事・給与については人事規程が整備されており、人事評価は法人組織で一元化され、組織目標・個人目標の設定を基に整備・運用されている。
- ・監事監査及び公認会計士監査が定期的に実施され、会計処理の適正について評価を受けている。
- ・法令を遵守し、適正な運営がなされている。
- ・適切な個人情報取得および取り扱い体制ができている。
- ・自己評価委員会により、毎年自己評価を行っている。
- ・ハラスメント委員会など、必要な対策が行われている。

今後の改善方策

- ・業務の効率化を進め、ワークライフバランスのさらなる改善を目指す。
- ・非常勤講師を含めたハラスメント研修の実施検討。

学校関係者 評価コメント

- ・法人全体で、学校の運営方針、人事評価システム、法令順守体制等整備されており、組織目標から職員個人の目標まで整備・運用されている。
- ・地域社会、教職員、学生、様々な対応があるかと思いますが、組織としてしっかり対応されていると思います。
- ・教員育成への取り組みやFDの成果を明確にするとよいと思われたが、法令に外れた業務とは思えない。
- ・財務についてはよくわかりませんが、静岡駅前キャンパスの投資額は気になります。
- ・適切だと思います。
- ・法令遵守し、運営に向けて評価点を上げられるように、今後とも取り組んでいただきたい。
- ・問題なく遵守されていると考えます。
- ・しっかりと監査委員会も開催し、運営に外部の意見も取り入れていますので、引き続きよろしくお願い致します。

学校関係者評価平均

3.8

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	3.9
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	3.6
8-4	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.7
8-5	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3
学校自己評価 平均		3.4

成果と課題

- ・地元小中学校と連携した授業を行う等、社会貢献・地域貢献を意識した活動がされている。
- ・新たな形での地域貢献方法が少しずつ取り入れられている。
- ・国際ビジネス科の設置で（留学生）受け入れ体制が出来ていると思われる。
- ・地域向けの公開講座は実施されているが、教育訓練等は現状実施できていない。
- ・ボランティア活動への体系的な取り組みは一部の学科にとどまっている。

今後の改善方策

- ・コロナ後を見据えた新しい地域貢献・地域連携の取組を検討していきたい。

学校関係者 評価コメント

- ・地元小中学校と連携した授業を行うなど地域貢献・社会貢献を意識した活動がなされている。また、留学生の受け入れ態勢も整っている。
- ・教育活動の中に小学校との連携などがあり、地域社会全体の教育に貢献されていると思います。社会人向けは場所提供など間接的な貢献でも十分であると思います。
- ・多くのイベントへの参加をしている様子がうかがえた。
- ・「地域社会への貢献」を教育方針に入れているので、是非、期待も込めて、さらに充実した活動してほしい。
- ・沼情のミッションを体現するような項目があるとよい。

- ・地域に学校が少ないので、もっと存在感を増してほしい。成人教育なども考えてみてください。
- ・小中学生にＩＴの面白さを広めてほしい。
- ・地域貢献としてイベント等に参加され活動しているので、継続していただきたい。
- ・周囲に対する貢献は数年前に比べて遥かに積極的に行っておられると感じます。
- ・コロナもありなかなか難しい項目だとは思いますが、こちらも少しずつ良いと思いますので、より良い方向へ進めていっていただきたいです。

学校関係者評価平均

3.7

以 上